

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	映像表現 I	青木裕幸	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

総合芸術としての映像メディアに触れることによって、Webデザインに必要な基礎の習得を目標とする。

**【講義概要】**

人類の歴史上、比較的新しい表現媒体である『映像メディア』は、特にそのテクノロジー面で常に進歩し続けていますが、それに伴う表現自体の概要を学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	ガイダンス 講義概要 予定説明 / 映像鑑賞の手引き
3	映像言語 解説1
4	映像言語 解説2
5	映像言語 解説3
6	基礎ドローイング 木炭による
7	映像言語 解説4
8	映像言語 解説5
9	基礎ドローイング グリッドデッサン1
10	基礎ドローイング グリッドデッサン2
11	映像論 解説1
12	映像論 解説2
13	映像論 解説3
14	基礎ドローイング 空間認識1
15	基礎ドローイング 空間認識2
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	映像表現の基礎知識 1
21	映像表現の基礎知識 2
22	映像表現の基礎知識 3
23	映像表現の基礎知識 4
24	映像表現の歴史1
25	映像表現の歴史2
26	映像表現の歴史3
27	イメージボード演習 1
28	イメージボード演習2
29	映像表現の多様性について
30	映像と音楽の関係性
31	映像、空間と時間の理解
32	絵コンテ演習1
33	絵コンテ演習2 / 総合評価
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

総合芸術としての映像メディアに触れることによって、Web/CG制作にとっても有意義となるような内容を提供していく。

担当教員は絵画、映像、デザインの分野で活躍する総合メディアのクリエイター。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	グラフィックデザイン	川尻純	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

この授業では、イラストレーターの操作方法を学習し同時にテクニックの習得を目標とする。

**【講義概要】**

アドビイラストレーターの基礎を学び、デザインの基礎的な事柄、UI等の概要を同時に学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	矩形ツールで図形作成①
3	矩形ツールで図形作成②
4	矩形ツールで図形作成③
5	矩形ツールで名刺①
6	ペンツール基礎 国旗制作①
7	ペンツール応用 国旗制作②
8	ペンツール応用 国旗制作③
9	VOICE表紙作成①
10	VOICE表紙作成②
11	VOICE表紙作成③
12	VOICE表紙作成④→完成→提出
13	画像素材を使ったカレンダー製作1(春夏秋冬)
14	画像素材を使ったカレンダー製作2(春夏秋冬)
15	画像素材を使ったカレンダー製作3(春夏秋冬)
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	画像素材を使ったカレンダー製作4(春夏秋冬)
21	画像素材を使ったカレンダー 完成→提出
22	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作①
23	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作②
24	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作③
25	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作④
26	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作⑤
27	Tissue box①
28	Tissue box②
29	ラッピングバス制作①
30	ラッピングバス制作②
31	ラッピングバス制作③ 完成→提出
32	ミニマルデザインによる映画ミニポスター(A4)①
33	ミニマルデザインによる映画ミニポスター(A4)②
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

担当教員はグラフィックデザイナーとしての豊富な経験からより実践的なスキルを説明に取り込んでいる。  
アドビイラストレーターの基礎を学び、デザインの基礎的技術の習得を目指す授業である。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養科目	ビジネススキル I	竹内 志保	36時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

学内での生活を円滑に過ごせるようになるためのケアを目標とします。  
連絡事項・出席・成績面での指導を行います。

**【講義概要】**

学内での生活を円滑に過ごせるようになるためのケアを行います。  
連絡事項・出席・成績面での指導を行います。また、マナープロトコール検定への対策講座や事前勉強を行います。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	授業内容・学校生活で不安なこと・わからないことなどの確認
3	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
4	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
5	みどりの村について
6	みどりの村について
7	みどりの村について
8	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
9	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
10	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
11	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
12	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
13	夏季休業中の過ごし方について
14	学院祭に向けて(作品制作)
15	学院祭に向けて(作品制作)
16	一般常識テスト
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	学院祭に向けて
21	学院祭に向けて
22	学院祭に向けて
23	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
24	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
25	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
26	ワーク発表会
27	ワーク発表会
28	ワーク発表会
29	就職企業の絞り込みについて
30	二年生への目標設定
31	一般常識テスト
32	ポートフォリオ制作
33	ポートフォリオ制作
34	ポートフォリオ制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

学生生活に必要な伝達事項や社会人に必要なスキルの習得。担当教員はグラフィックデザイナーとしてデザイン会社などで広告制作などに携わる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	webサイトプランニング I	堀川暁	144時間

#### 【授業の到達目標及びテーマ】

1年生では、Webでのプランニングをする上で必要な知識を習得させることを目的にしています。基礎的なネットワーク技術の理解とWebページの配信される仕組みを理解するために、初心者にも理解しやすい高級スクリプト言語であるPHPの授業を行います。後期にはPHPで書かれたCMS(Content Management System)であるWord Pressを通してPHPとHTML、データベースの基礎知識を取得を目標とする。

#### 【講義概要】

HTMLと連動させる内容にしてデザインとの関連を持た知識の概要を習得します。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	PHP開発環境設定(MAMP)、変数と定数、データ型
3	PHP - 演算子と簡単な計算のスクリプト
4	PHP - 条件分岐 if文、if~else文、if~elseif~else文
5	PHP - 条件分岐 比較演算子、論理演算子
6	PHP - 配列、連想配列1、ファイルの出力
7	PHP - ファイルの入出力+explode関数、list関数
8	PHP - アンケートフォームを作る1
9	PHP - アンケートフォームを作る2
10	PHP - cookie、sessionを使ったフォーム
11	PHP - 日付:data関数、time関数、カレンダーを作る
12	PHP - ユーザー定義関数 function()
13	PHP - クラス関数1、2 object、class、construct、destruct
14	PHP - CMS:Wordpressをインストール MAMP(班分け)
15	総合演習
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	Wordpress - CMS:Wordpressをインストール サーバー、FTP
21	Wordpress - 基本的な運用 構造を理解する
22	Wordpress - テーマを作る:子テーマをデザイン
23	Wordpress - テーマを作る1:ヘッダー、フッター
24	Wordpress - テーマを作る2:投稿ページ、固定ページ
25	Wordpress - テーマを作る3:サイドページ
26	Wordpress - テーマを作る4:function.php
27	Wordpress - 実際の運用 プラグイン:スライダー
28	Wordpress - 実際の運用 プラグイン:contactform7
29	Wordpress - 実際の運用 fillterhook1
30	Wordpress - 実際の運用 fillterhook2
31	Wordpress - オリジナルのテーマを作る1
32	Wordpress - オリジナルのテーマを作る2
33	Wordpress - オリジナルのテーマを作る3
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

#### 【成績評価方法】

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

#### 【授業の特徴・形式と教員紹介】

講義内容はHTMLと連動させる内容にしてデザインとの関連を持たせるようにしています。担当教員はWebバックエンドエンジニアでサイトの構築に携わる。また映像編集ディレクションも行う。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	Web制作 I	亀井雅俊	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

HTML,CSSを使ったサイト構築の習得または、Javascriptの基礎の習得を目標とする。

**【講義概要】**

Webサイト制作にまつわるデザインやHTML、CSSを使ったサイト構築、Javascriptの基礎の概要を学習する。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	HTML,CSSの仕組みについて
3	HTML,CSSの仕組みについて
4	HTML,CSSの仕組みについて
5	HTML,CSSの仕組みについて
6	HTML,CSSの仕組みについて
7	HTML,CSSの仕組みについて
8	実際にサイトを組んで理解度を深める
9	実際にサイトを組んで理解度を深める
10	実際にサイトを組んで理解度を深める
11	実際にサイトを組んで理解度を深める
12	実際にサイトを組んで理解度を深める
13	実際にサイトを組んで理解度を深める
14	実際にサイトを組んで理解度を深める
15	実際にサイトを組んで理解度を深める
16	作品制作。締め切り
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	Javascriptの基礎
21	Javascriptの基礎
22	Javascriptの基礎
23	Javascriptの基礎
24	Javascriptの基礎
25	Javascriptの基礎
26	Javascriptの基礎
27	Javascriptの基礎
28	Javascriptの基礎
29	Javascriptの基礎
30	Javascriptの基礎
31	Javascriptの基礎
32	Javascriptの基礎
33	Javascriptの基礎
34	後期講評評価
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

講義形式の授業であるが実技も適宜行う。

担当教員はWebエンジニアでサイトの構築に携わる。HTMLやCSSの仕組みの理解、Javascriptの基礎の学習。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	デザインワーク	山本浩生	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

課題制作を通し、グループワークの基礎を身に付け、発想力、主体性、協調性、積極性などを身に付ける事を目標とする。

**【講義概要】**

他学科の学生がコラボレーションすることにより、幅広い視野や知識・技術概要獲得する。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	「映画をつくろう」グループ分け、役員決定、企画構想会議等
3	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
4	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
5	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
6	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
7	企画構想の具体化、エスキースなどの制作
8	企画構想の具体化、エスキースなどの制作
9	七週目の講評会。評価付け。
10	「課題を出し合おう」
11	九週目の講評会。評価付け。
12	「課題を出し合おう」
13	十一週目の講評会。評価付け。
14	「課題を出し合おう」
15	「課題を出し合おう」
16	十三週目の講評会。評価付け。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	描画の基礎を知ろう
21	描画の基礎を知ろう
22	描画の基礎を知ろう
23	「アルバムを作ろう」
24	「アルバムを作ろう」
25	「アルバムの感想を語ろう」
26	「美術館に行こう」
27	「美術館に行こう」
28	「コラージュしよう」
29	「コラージュしよう」
30	「コラージュの感想を語ろう」
31	「批評をしよう」
32	「批評をしよう」
33	「表現を語ろう」
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。

ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

グループワークの基礎を身に付け発想力、主体性、協調性、積極性などを身に付ける。担当教員は美術家、批評家。個展・グループ展等多数経験有り。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	HTML実習	ムラヤマリュウタ	216時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
インターネットが普及した現在、WEBサイト、スマートフォン、デジタルサイネージ等の媒体に代表されるように、デザインの領域におけるインタラクティブコミュニケーションの重要度が増して行く。この授業ではWEB構築に必要な、html、cssの基本などを学び、実際にWEBサイトをデザインし構築を目標とする。			
<b>【講義概要】</b>			
企画したデザインを構築するためにはフォトショップ、イラストレータ等のグラフィックデザインアプリケーションとの連携について概要を学びます。また基礎的なPC知識、キータイプ等も必要です。			
回	授業計画及び学習内容		
1	前期オリエンテーション		
2	導入。WEBサイトの目的などについての考察		
3	HTML HTMLの概念を確認、タグ打ちにて文書構造を作る		
4	HTML 様々なHTMLタグの学習		
5	HTML ファイルとフォルダ(ディレクトリの概念)		
6	CSS基礎		
7	CSS基礎		
8	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
9	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
10	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
11	WEBサイト構築に向けて 企画立案		
12	WEBサイト制作		
13	WEBサイト制作		
14	WEBサイト制作		
15	WEBサイト制作		
16	WEBサイト制作。締め切り。		
17	前期プレゼン講評		
18	前期プレゼン講評		
19	後期オリエンテーション		
20	HTML、CSS復習		
21	HTML、CSS復習		
22	CSS応用		
23	CSS応用		
24	CSS応用		
25	JQUERY基礎		
26	JQUERY基礎		
27	JQUERY基礎、サイト構築チェック		
28	WEBサイト制作		
29	WEBサイト制作		
30	WEBサイト制作		
31	WEBサイト制作		
32	WEBサイト制作		
33	プレゼン講評		
34	作品制作。締め切り。		
35	後期講評評価		
36	後期講評評価		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
担当教員は映像ディレクター、WEBデザイナー 最初にHTMLの基礎を学び、デザイン設定であるCSSを学んでいきます。簡単な文書をHTMLで構築することから始め、CSSを組み合わせ徐々に複雑なデザインを構築できるように進んでいきます。			

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科 Webデザインコース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	インタラクティブ実習	ムラヤマリュウタ	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

この授業では、UI、映像コンテンツ等のマルチメディアコンテンツの観点からWEBサイト構築を学んでいきます。またWEBサイト構築に必要なフォトショップ、イラストレーターのテクニックも同時に学ぶことを目標とする。

**【講義概要】**

フォトショップ、イラストレーターの基礎を学び、WEBサイトデザイン的使用方法の概要を学んでいきます。また、デザインの基礎的な事柄、UI等の考え方も同時に学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	フォトショップ基礎①
3	フォトショップ基礎②
4	フォトショップ基礎③
5	レイヤー操作、効果
6	テキスト、画像合成
7	画像合成演習
8	画像合成演習
9	アセット書き出しについて
10	WEBデザイン的フォトショップ使用方法
11	課題制作
12	課題制作
13	課題制作
14	課題制作
15	プレゼン講評
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	ユーザーインターフェースから見るデザイン
21	UIデザイン、WEBデザイントレンドについて
22	既存サイト調査
23	画像合成復習
24	画像合成復習
25	サイトデザイン
26	サイトデザイン
27	サイトデザイン
28	サイトデザイン
29	サイトデザイン
30	サイトデザイン
31	サイトデザイン
32	サイトデザイン
33	プレゼン講評
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

担当教員は映像ディレクター、WEBデザイナー  
サイトデザインに必要な素材をアドビフォトショップでの画像編集を行い、複雑なデザインを構築できるように進んでいきます。



開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用科目	映像表現Ⅱ	青木裕幸	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

1年次で習得した知識、経験を元に、さらに総合芸術としての映像メディアを解析し、そのセオリーや構造を理解させることで、より高次元の表現レベルに達する事を目標とする。

**【講義概要】**

学生それぞれが持つ個性を大切に、映像メディアにおける創作意欲の喚起を促せるようなカリキュラムの概要。映像構築センスのみならず、ドローイングの描写力も向上させたい。CGクリエイター科との合同授業。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	ガイダンス 講義概要 予定説明 / 映像鑑賞の手引き
3	映像言語 解説1
4	映像言語 解説2
5	映像言語 解説3
6	基礎ドローイング 木炭による
7	映像言語 解説4
8	映像言語 解説5
9	基礎ドローイング グリッドデッサン1
10	基礎ドローイング グリッドデッサン2
11	映像論 解説1
12	映像論 解説2
13	映像論 解説3
14	基礎ドローイング 空間認識 1
15	基礎ドローイング 空間認識 2
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	映像表現の基礎知識 1
21	映像表現の基礎知識 2
22	映像表現の基礎知識 3
23	映像表現の基礎知識 4
24	映像表現の歴史1
25	映像表現の歴史2
26	映像表現の歴史3
27	イメージボード演習 1
28	イメージボード演習2
29	映像表現の多様性について
30	映像と音楽の関係性
31	映像、空間と時間の理解
32	絵コンテ演習1
33	絵コンテ演習2
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

総合芸術としての映像メディアに触れることによって、Web/CG制作にとっても有意義となるような内容を提供していく。

担当教員は絵画、映像、デザインの分野で活躍する総合メディアのクリエイター。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用科目	メディアデザイン	川尻純	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

イラストレーターを通してグラフィックデザインのテクニックの取得を目標とする。

**【講義概要】**

iMacを使用してインタラクティブにグラフィックデザインの概要を学ぶ。一年次に習得をした技術の応用。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	CDジャケット制作→課題説明 ポートフォリオ-A4-制作説明
3	CDジャケット制作 アイデアスケッチ提案後→コンピュータ作業
4	CDジャケット制作
5	CDジャケット制作
6	CDジャケット制作 コンピュータ作業→完成→提出
7	PhotoShop合成課題1-写真合成
8	PhotoShop合成課題1-写真合成
9	PhotoShop合成課題2-写真合成
10	PhotoShop合成課題2-写真合成 ポートフォリオ-A4-主要面の完成
11	PhotoShop合成課題3-写真合成
12	PhotoShop合成課題3-写真合成 ポートフォリオ-A4-主要面の完成
13	NoteBook:オリエンテーション→ラフ構成案作成 ポートフォリオ-A4-制作説明
14	NoteBook
15	ポートフォリオ制作
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	レイアウト課題 ①吾輩は猫である 級・歯・字間・字送り・行間・行送り
21	レイアウト課題 ①吾輩は猫である 行頭一字下げ・縦中横・欧文回転
22	レイアウト課題 ①吾輩は猫である 表2目次
23	レイアウト課題 ② Bathny-特定色域の選択PSIによる写真修正
24	レイアウト課題 ② Bathny
25	レイアウト課題 ② Bathny
26	レイアウト課題 ③ 京都
27	レイアウト課題 ③ 京都
28	レイアウト課題 ③ 京都
29	レイアウト課題一表1
30	レイアウト課題一表1
31	レイアウト課題一表4用ミニマルデザインによる映画ポスター
32	レイアウト①②③をまとめる一製本
33	レイアウト①②③をまとめる一製本
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

担当教員はグラフィックデザイナーとしての豊富な経験からより実践的なスキルを説明に取り込んでいる。一年で習得したイラストレーターのスキルを踏襲し高度なデザインをする。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用科目	クリエイティブワーク	山本浩生	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

自身の人生の根幹・指標となる「ものさし」=「核」を育むことを目標とする。  
また、未知の物事に対する好奇心を育てることを目的とし、様々な実験的な試行を積極的に行うことが出来るように促すとともに、周囲の事象にも興味関心をもつことにより自身の知識技術の幅を拡張することを目標とする。

**【講義概要】**

自身の志向や方向性を鑑みつつ、今まで学習してきた知識・技術を活かし、総合的かつ長期的な視野のもとに「作品」を制作し、プレゼンテーションを行う。CGクリエイター科との合同授業。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	授業計画の確認、課題内容発表
3	課題計画の発表(プレゼンテーション)
4	作品制作作業
5	作品制作作業
6	作品制作作業
7	作品制作作業
8	作品制作完成
9	完成プレゼンテーション
10	課題計画の発表(プレゼンテーション)
11	作品制作作業
12	作品制作作業
13	作品制作作業
14	作品制作作業
15	完成プレゼンテーション準備
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
21	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
22	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
23	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
24	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
25	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
26	アナログ画材・素材を使用した実験的実習
27	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
28	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
29	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
30	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
31	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
32	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
33	アナログ画材・素材を使用した批判的実習
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

実技形式をメインとする授業である。  
担当教員は美術家、批評家。個展・グループ展等多数経験有り。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	担当教員
専門応用科目	WebプランニングサイトⅡ	堀川 暁	216時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

ショッピングサイトの構築を通してHTML、スクリプトの理解度を深め、オリジナルの企画を構築できるよう学習する。グループでの企画を立案から納品までを目標とする。

**【講義概要】**

一年次に習得したphpなどのスキルを使いより高度なサイト制作を目指す。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	Welcart:インストール、構造理解
3	Welcart:管理者として運用を理解
4	Welcart:ページデザインをカスタマイズ:デザインコピー
5	Welcart:ページデザインをカスタマイズ:制作工程、スケジュール
6	Welcart:ページデザインをカスタマイズ:制作
7	Welcart:ページデザインをカスタマイズ:制作
8	Welcart:ページデザインをカスタマイズ:制作
9	Welcart:オリジナルサイト作成:デザイン案
10	Welcart:オリジナルサイト作成:cssでカスタマイズ
11	Welcart:オリジナルサイト作成:phpファイルの調整
12	Welcart:オリジナルサイト作成
13	作品制作1:企画案
14	作品制作1:企画書+スケジュール
15	作品制作1:デザイン案決定
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	作品制作1:制作
21	作品制作1:制作
22	作品制作1:制作
23	作品制作1:制作
24	作品制作1:講評
25	卒業制作:企画案
26	卒業制作:企画書+スケジュール
27	卒業制作:企画書+スケジュール
28	卒業制作:Web制作
29	卒業制作:Web制作
30	卒業制作:Web制作
31	卒業制作:Web制作
32	総合演習1
33	総合演習2
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

Webデザインに必要なphpのプログラミングを学ぶ。  
担当教員はWebバックエンドエンジニアでサイトの構築に携わる。また映像編集ディレクションも行う。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用科目	Web制作Ⅱ	亀井雅俊	288時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

HTML、CSSを使ったサイト構築の習得を目標としたJavascriptの基礎の習得を目標とする。

**【講義概要】**

Webサイト制作にまつわるデザインやHTML,CSSを使ったサイト構築の概要およびJavascriptの基礎学習。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
3	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
4	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
5	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
6	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
7	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
8	視差効果を使った動的サイトのコンテ作成
9	視差効果を使った動的サイトのwebサイト構築
10	視差効果を使った動的サイトのwebサイト構築
11	視差効果を使った動的サイトのwebサイト構築
12	視差効果を使った動的サイトのwebサイト構築
13	視差効果を使った動的サイトのwebサイト作品制作
14	視差効果を使った動的サイトのwebサイト作品制作
15	視差効果を使った動的サイトのwebサイト作品制作
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
21	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
22	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
23	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
24	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
25	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
26	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
27	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
28	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
29	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
30	Javascript,HTML,CSSのテクニックについて
31	Javascript,HTML,CSSのテクニックを使って作品制作
32	Javascript,HTML,CSSのテクニックを使って作品制作
33	Javascript,HTML,CSSのテクニックを使って作品制作
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

実技形式が中心の授業であるが講義も適宜おこなう。  
担当講師はWebエンジニアとしてサイトの構築業務に携わる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webクリエイター科 Webクリエイターコース	2019	2年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養科目	ビジネススキルⅡ	竹内 志保	36時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

学内での生活を円滑に過ごせるようケアを中心に、連絡事項・出席・成績面での指導を目標とする。

**【講義概要】**

学生生活に必要な連絡事項などの伝達。スピーチ練習などの概要を通し就職活動などに役立てる。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	授業内容・学校生活で不安なこと・わからないことなどの確認
3	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
4	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
5	就職指導村について
6	就職指導村について
7	就職指導村について
8	一般常識テスト
9	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
10	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
11	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
12	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
13	夏季休業中の過ごし方について
14	学院祭に向けて(作品制作)
15	学院祭に向けて(作品制作)
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	学院祭に向けて
21	学院祭に向けて
22	学院祭に向けて
23	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
24	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
25	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
26	ワーク発表会
27	ワーク発表会
28	ワーク発表会
29	就職企業の絞り込みについて
30	二年生への目標設定
31	一般常識テスト
32	作品制作
33	作品制作
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

学生生活に必要な伝達事項や社会人に必要なスキルの習得。担当教員はグラフィックデザイナーとしてデザイン会社などで広告制作などに携わる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	HTML実習	ムラヤマリュウタ	216時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
インターネットが普及した現在、WEBサイト、スマートフォン、デジタルサイネージ等の媒体に代表されるように、デザインの領域におけるインタラクティブコミュニケーションの重要度が増して行く。この授業ではWEB構築に必要な、html、cssの基本などを学び、実際にWEBサイトをデザインし構築を目標とする。			
<b>【講義概要】</b>			
企画したデザインを構築するためにはフォトショップ、イラストレータ等のグラフィックデザインアプリケーションとの連携について概要を学びます。また基礎的なPC知識、キータイプ等も必要です。			
回	授業計画及び学習内容		
1	前期オリエンテーション		
2	導入。WEBサイトの目的などについての考察		
3	HTML HTMLの概念を確認、タグ打ちにて文書構造を作る		
4	HTML 様々なHTMLタグの学習		
5	HTML ファイルとフォルダ(ディレクトリ)の概念)		
6	CSS基礎		
7	CSS基礎		
8	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
9	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
10	レイアウトデザイン CSSレイアウト		
11	WEBサイト構築に向けて 企画立案		
12	WEBサイト制作		
13	WEBサイト制作		
14	WEBサイト制作		
15	WEBサイト制作		
16	WEBサイト制作。締め切り。		
17	前期プレゼン講評		
18	前期プレゼン講評		
19	後期オリエンテーション		
20	HTML、CSS復習		
21	HTML、CSS復習		
22	CSS応用		
23	CSS応用		
24	CSS応用		
25	JQUERY基礎		
26	JQUERY基礎		
27	JQUERY基礎、サイト構築チェック		
28	WEBサイト制作		
29	WEBサイト制作		
30	WEBサイト制作		
31	WEBサイト制作		
32	WEBサイト制作		
33	プレゼン講評		
34	作品制作。締め切り。		
35	後期講評評価		
36	後期講評評価		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
担当教員は映像ディレクター、WEBデザイナー 最初にHTMLの基礎を学び、デザイン設定であるCSSを学んでいきます。簡単な文書をHTMLで構築することから始め、CSSを組み合わせ徐々に複雑なデザインを構築できるように進んでいきます。			

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	インタラクティブ実習	ムラヤマリュウタ	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

この授業では、UI、映像コンテンツ等のマルチメディアコンテンツの観点からWEBサイト構築を学んでいきます。またWEBサイト構築に必要なフォトショップ、イラストレーターのテクニックも同時に学ぶことを目標とする。

**【講義概要】**

フォトショップ、イラストレーターの基礎を学び、WEBサイトデザイン的使用方法の概要を学んでいきます。また、デザインの基礎的な事柄、UI等の考え方も同時に学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	フォトショップ基礎①
3	フォトショップ基礎②
4	フォトショップ基礎③
5	レイヤー操作、効果
6	テキスト、画像合成
7	画像合成演習
8	画像合成演習
9	アセット書き出しについて
10	WEBデザイン的フォトショップ使用方法
11	課題制作
12	課題制作
13	課題制作
14	課題制作
15	プレゼン講評
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	ユーザーインターフェースから見るデザイン
21	UIデザイン、WEBデザイントレンドについて
22	既存サイト調査
23	画像合成復習
24	画像合成復習
25	サイトデザイン
26	サイトデザイン
27	サイトデザイン
28	サイトデザイン
29	サイトデザイン
30	サイトデザイン
31	サイトデザイン
32	サイトデザイン
33	プレゼン講評
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

担当教員は映像ディレクター、WEBデザイナー  
 サイトデザインに必要な素材をアドビフォトショップでの画像編集を行い、複雑なデザインを構築できるように進んでいきます。



開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	映像表現 I	青木裕幸	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

総合芸術としての映像メディアに触れることによって、Webデザインに必要な基礎の習得を目標とする。

**【講義概要】**

人類の歴史上、比較的新しい表現媒体である『映像メディア』は、特にそのテクノロジー面で常に進歩し続けていますが、それに伴う表現自体の概要を学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	ガイダンス 講義概要 予定説明 / 映像鑑賞の手引き
3	映像言語 解説1
4	映像言語 解説2
5	映像言語 解説3
6	基礎ドローイング 木炭による
7	映像言語 解説4
8	映像言語 解説5
9	基礎ドローイング グリッドデッサン1
10	基礎ドローイング グリッドデッサン2
11	映像論 解説1
12	映像論 解説2
13	映像論 解説3
14	基礎ドローイング 空間認識1
15	基礎ドローイング 空間認識2
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	映像表現の基礎知識 1
21	映像表現の基礎知識 2
22	映像表現の基礎知識 3
23	映像表現の基礎知識 4
24	映像表現の歴史1
25	映像表現の歴史2
26	映像表現の歴史3
27	イメージボード演習1
28	イメージボード演習2
29	映像表現の多様性について
30	映像と音楽の関係性
31	映像、空間と時間の理解
32	絵コンテ演習1
33	絵コンテ演習2 / 総合評価
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

総合芸術としての映像メディアに触れることによって、Web/CG制作にとっても有意義となるような内容を提供していく。

担当教員は絵画、映像、デザインの分野で活躍する総合メディアのクリエイター。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	グラフィックデザイン	川尻純	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

この授業では、イラストレーターの操作方法を学習し同時にテクニックの習得を目標とする。

**【講義概要】**

アドビイラストレーターの基礎を学び、デザインの基礎的な事柄、UI等の概要を同時に学びます。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	矩形ツールで図形作成①
3	矩形ツールで図形作成②
4	矩形ツールで図形作成③
5	矩形ツールで名刺①
6	ペンツール基礎 国旗制作①
7	ペンツール応用 国旗制作②
8	ペンツール応用 国旗制作③
9	VOICE表紙作成①
10	VOICE表紙作成②
11	VOICE表紙作成③
12	VOICE表紙作成④→完成→提出
13	画像素材を使ったカレンダー製作1(春夏秋冬)
14	画像素材を使ったカレンダー製作2(春夏秋冬)
15	画像素材を使ったカレンダー製作3(春夏秋冬)
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	画像素材を使ったカレンダー製作4(春夏秋冬)
21	画像素材を使ったカレンダー 完成→提出
22	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作①
23	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作②
24	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作③
25	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作④
26	GiftWine ラベル・パッケージ・カード制作⑤
27	Tissue box①
28	Tissue box②
29	ラッピングバス制作①
30	ラッピングバス制作②
31	ラッピングバス制作③ 完成→提出
32	ミニマルデザインによる映画ミニポスター(A4)①
33	ミニマルデザインによる映画ミニポスター(A4)②
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

担当教員はグラフィックデザイナーとしての豊富な経験からより実践的なスキルを説明に取り込んでいる。  
アドビイラストレーターの基礎を学び、デザインの基礎的技術の習得を目指す授業である。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養科目	ビジネススキル I	竹内 志保	36時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

学内での生活を円滑に過ごせるようになるためのケアを目標とします。  
連絡事項・出席・成績面での指導を行います。

**【講義概要】**

学内での生活を円滑に過ごせるようになるためのケアを行います。  
連絡事項・出席・成績面での指導を行います。また、マナープロトコール検定への対策講座や事前勉強を行います。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	授業内容・学校生活で不安なこと・わからないことなどの確認
3	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
4	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
5	みどりの村について
6	みどりの村について
7	みどりの村について
8	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
9	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
10	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
11	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
12	課題・持ち物の確認。検定・手続きなどについて
13	夏季休業中の過ごし方について
14	学院祭に向けて(作品制作)
15	学院祭に向けて(作品制作)
16	一般常識テスト
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	学院祭に向けて
21	学院祭に向けて
22	学院祭に向けて
23	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
24	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
25	グループワーク(テーマ Adobe社の歴史)
26	ワーク発表会
27	ワーク発表会
28	ワーク発表会
29	就職企業の絞り込みについて
30	二年生への目標設定
31	一般常識テスト
32	ポートフォリオ制作
33	ポートフォリオ制作
34	ポートフォリオ制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

学生生活に必要な伝達事項や社会人に必要なスキルの習得。担当教員はグラフィックデザイナーとしてデザイン会社などで広告制作などに携わる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	webサイトプランニング I	堀川暁	144時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

1年生では、Webでのプランニングをする上で必要な知識を習得させることを目的にしています。基礎的なネットワーク技術の理解とWebページの配信される仕組みを理解するために、初心者にも理解しやすい高級スクリプト言語であるPHPの授業を行います。後期にはPHPで書かれたCMS (Contents Manegement System)であるWord Pressを通してPHPとHTML、データベースの基礎知識を取得を目標とする。

**【講義概要】**

HTMLと連動させる内容にしてデザインとの関連を持た知識の概要を習得します。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	PHP開発環境設定(MAMP)、変数と定数、データ型
3	PHP - 演算子と簡単な計算のスクリプト
4	PHP - 条件分岐 if文、if~else文、if~elseif~else文
5	PHP - 条件分岐 比較演算子、論理演算子
6	PHP - 配列、連想配列1、ファイルの出力
7	PHP - ファイルの入出力+explode関数、list関数
8	PHP - アンケートフォームを作る1
9	PHP - アンケートフォームを作る2
10	PHP - cookie、sessionを使ったフォーム
11	PHP - 日付:data関数、time関数、カレンダーを作る
12	PHP - ユーザー定義関数 funnction()
13	PHP - クラス関数1、2 object、class、construct、destruct
14	PHP - CMS:Wordpressをインストール MAMP(班分け)
15	総合演習
16	作品制作。締め切り。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	Wordpress - CMS:Wordpressをインストール サーバー、FTP
21	Wordpress - 基本的な運用 構造を理解する
22	Wordpress - テーマを作る:子テーマをデザイン
23	Wordpress - テーマを作る1:ヘッダー、フッター
24	Wordpress - テーマを作る2:投稿ページ、固定ページ
25	Wordpress - テーマを作る3:サイドページ
26	Wordpress - テーマを作る4:function.php
27	Wordpress - 実際の運用 プラグイン:スライダー
28	Wordpress - 実際の運用 プラグイン:contactform7
29	Wordpress - 実際の運用 fillterhook1
30	Wordpress - 実際の運用 fillterhook2
31	Wordpress - オリジナルのテーマを作る1
32	Wordpress - オリジナルのテーマを作る2
33	Wordpress - オリジナルのテーマを作る3
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

講義内容はHTMLと連動させる内容にしてデザインとの関連を持たせるようにしています。担当教員はWebバックエンドエンジニアでサイトの構築に携わる。また映像編集ディレクションも行う。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	Web制作 I	亀井雅俊	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

HTML,CSSを使ったサイト構築の習得または、Javascriptの基礎の習得を目標とする。

**【講義概要】**

Webサイト制作にまつわるデザインやHTML、CSSを使ったサイト構築、Javascriptの基礎の概要を学習する。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	HTML,CSSの仕組みについて
3	HTML,CSSの仕組みについて
4	HTML,CSSの仕組みについて
5	HTML,CSSの仕組みについて
6	HTML,CSSの仕組みについて
7	HTML,CSSの仕組みについて
8	実際にサイトを組んで理解度を深める
9	実際にサイトを組んで理解度を深める
10	実際にサイトを組んで理解度を深める
11	実際にサイトを組んで理解度を深める
12	実際にサイトを組んで理解度を深める
13	実際にサイトを組んで理解度を深める
14	実際にサイトを組んで理解度を深める
15	実際にサイトを組んで理解度を深める
16	作品制作。締め切り
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	Javascriptの基礎
21	Javascriptの基礎
22	Javascriptの基礎
23	Javascriptの基礎
24	Javascriptの基礎
25	Javascriptの基礎
26	Javascriptの基礎
27	Javascriptの基礎
28	Javascriptの基礎
29	Javascriptの基礎
30	Javascriptの基礎
31	Javascriptの基礎
32	Javascriptの基礎
33	Javascriptの基礎
34	後期講評評価
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

講義形式の授業であるが実技も適宜行う。

担当教員はWebエンジニアでサイトの構築に携わる。HTMLやCSSの仕組みの理解、Javascriptの基礎の学習。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術専門課程	Webデザイン科・大学コース	2019	1年・通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎科目	デザインワーク	山本浩生	108時間

**【授業の到達目標及びテーマ】**

課題制作を通し、グループワークの基礎を身に付け、発想力、主体性、協調性、積極性などを身に付ける事を目標とする。

**【講義概要】**

他学科の学生がコラボレーションすることにより、幅広い視野や知識・技術概要獲得する。

回	授業計画及び学習内容
1	前期オリエンテーション
2	「映画をつくろう」グループ分け、役員決定、企画構想会議等
3	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
4	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
5	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
6	企画構想会議、企画構想の具体化、エスキースなどの制作
7	企画構想の具体化、エスキースなどの制作
8	企画構想の具体化、エスキースなどの制作
9	七週目の講評会。評価付け。
10	「課題を出し合おう」
11	九週目の講評会。評価付け。
12	「課題を出し合おう」
13	十一週目の講評会。評価付け。
14	「課題を出し合おう」
15	「課題を出し合おう」
16	十三週目の講評会。評価付け。
17	前期講評評価
18	前期講評評価
19	後期オリエンテーション
20	描画の基礎を知ろう
21	描画の基礎を知ろう
22	描画の基礎を知ろう
23	「アルバムを作ろう」
24	「アルバムを作ろう」
25	「アルバムの感想を語ろう」
26	「美術館に行こう」
27	「美術館に行こう」
28	「コラージュしよう」
29	「コラージュしよう」
30	「コラージュの感想を語ろう」
31	「批評をしよう」
32	「批評をしよう」
33	「表現を語ろう」
34	作品制作。締め切り。
35	後期講評評価
36	後期講評評価

**【成績評価方法】**

課題提出、出席状況、授業態度を総合的に判断して成績を評価する。提出課題と出席状況、授業態度の評価比率6:4とする。  
ただし出席率が8割以上の者を評価対象とする。

**【授業の特徴・形式と教員紹介】**

グループワークの基礎を身に付け発想力、主体性、協調性、積極性などを身に付ける。担当教員は美術家、批評家。個展・グループ展等多数経験有り。